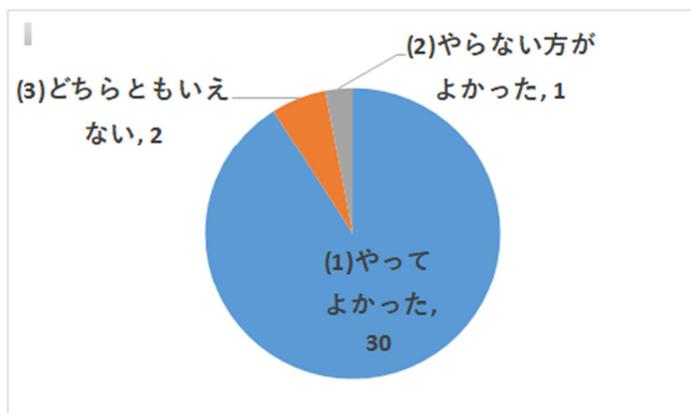


令和2年度 琴浦町事業レビュー

アンケート（町民評価員）集計結果

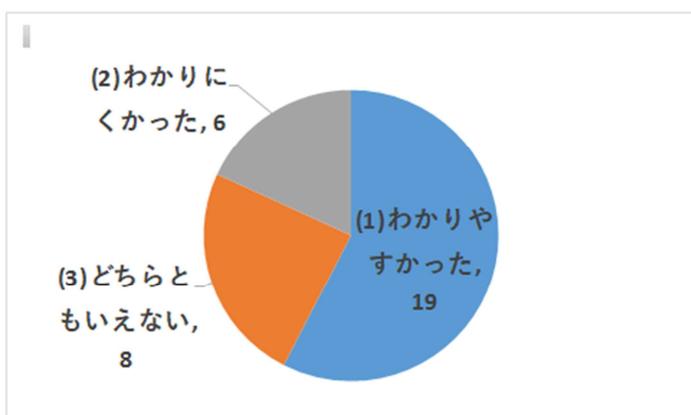
1. 町民評価員をやってみた感想はいかがでしたか？

- (1) やってよかった (2) やらない方がよかった (3) どちらともいえない (4) その他



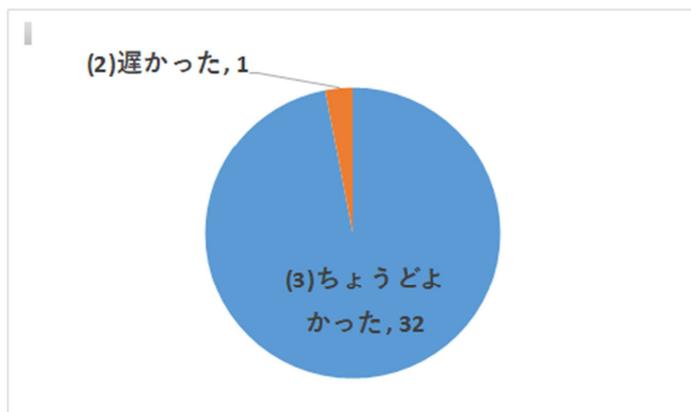
2. 説明資料（事業シート等）はわかりやすかったですか？

- (1) わかりやすかった (2) わかりにくかった (3) どちらともいえない



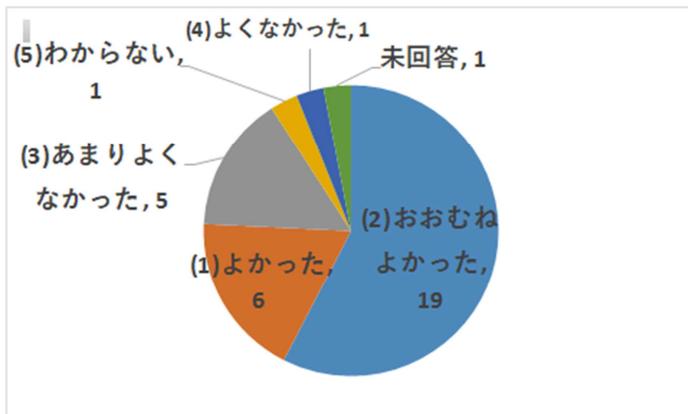
3. 資料の配布時期はいかがでしたか？

- (1) 早かった (2) 遅かった (3) ちょうどよかった



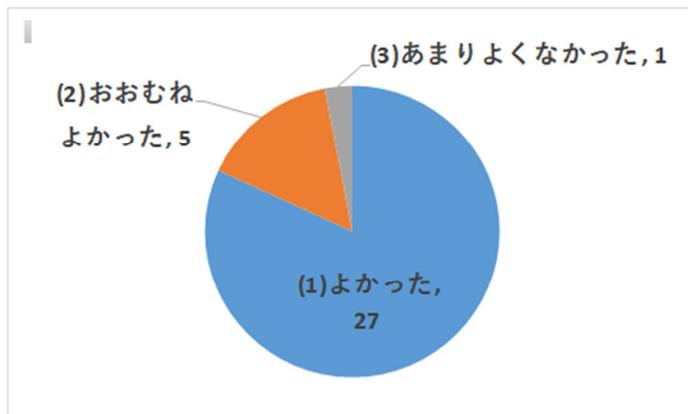
4. 説明者（琴浦町職員）の説明はいかがでしたか？

(1)よかった (2)おおむねよかった (3)あまりよくなかった (4)よくなかった (5)わからない



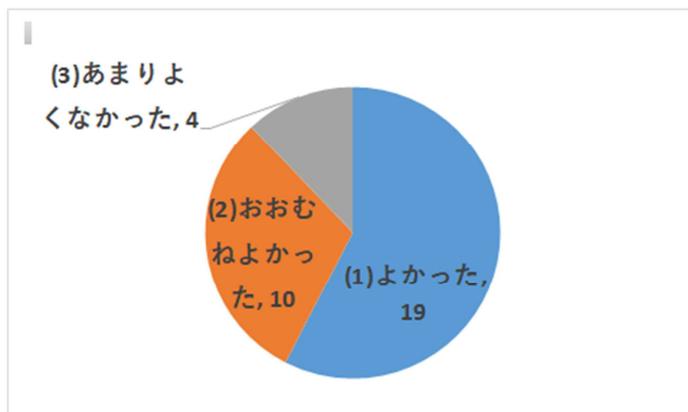
5. コーディネーターの進行はいかがでしたか？

(1)よかった (2)おおむねよかった (3)あまりよくなかった (4)よくなかった (5)わからない



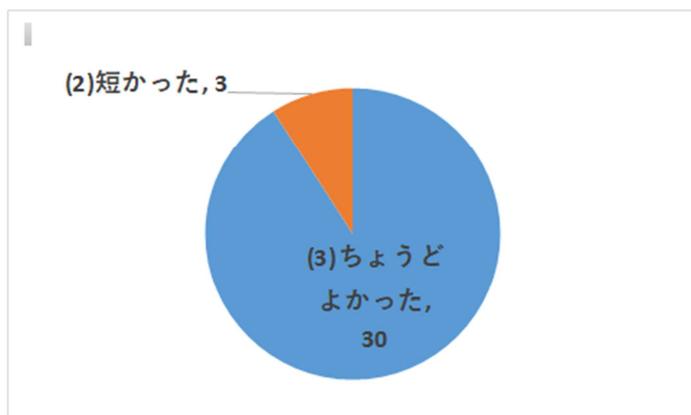
6. 審議員の質問はいかがでしたか？

(1)よかった (2)おおむねよかった (3)あまりよくなかった (4)よくなかった (5)わからない



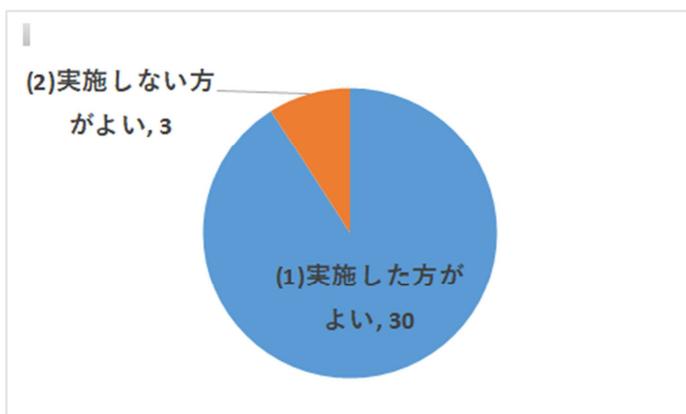
7. 時間配分はいかがでしたか？

- (1) 長かった (2) 短かった (3) ちょうどよかった



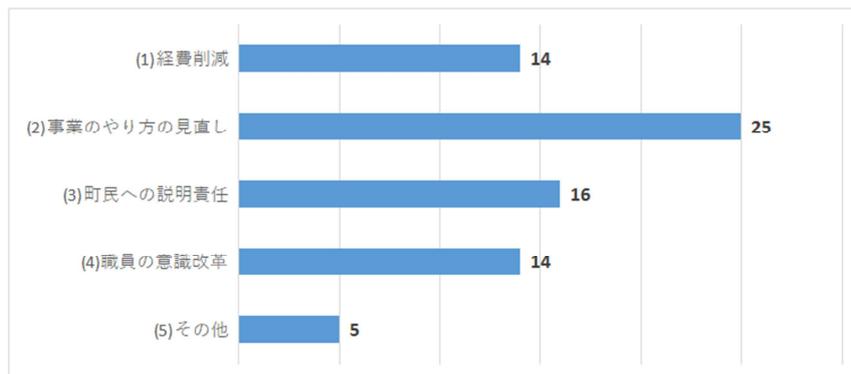
8. 今後も継続して事業レビューを実施した方がよいと思われますか？

- (1) 実施した方がよい (2) 実施しない方がよい (3) どちらともいえない



9. 今回のような事業の評価に何を期待しますか？（複数回答可）

- (1) 経費節減 (2) 事業のやり方の見直し（経営改革の推進）
(3) 町民への説明責任（市民参加の促進） (4) 職員の意識改革 (5) その他

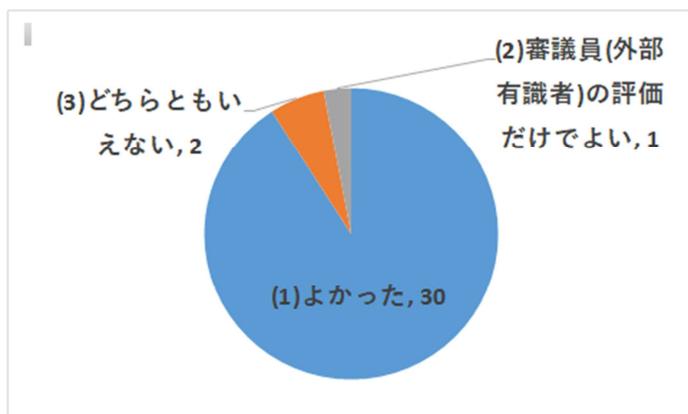


「(5) その他」の意見

- ・ 情報発信、住民の声を聴く機会を大幅に増やす
- ・ 町民が求める方向へ進むこと
- ・ 町民と行政の連携
- ・ 町民への情報発信方法
- ・ 職員と町民の意識改革

10. 今回の事業レビューの「判定人方式※」はいかがでしたか？

- (1)よかった (2)審議員(外部有識者)の評価だけでよい (3)どちらともいえない



※「判定人方式」とは、

住民基本台帳などから無作為に選ばれた住民（町民評価者）が、対象となる事業のあり方について、外部専門家（審議員）と事業の担当者（町職員）等の議論を聞き、一定の評価をする方式。

11. なぜ町民評価員に応募されましたか？（自由記載）

- ・興味があったため。
- ・琴浦町に在住したら、町の行政について無知であったため知識を得たいと思い参加
- ・琴浦町を知る良い機会だと思い応募した
- ・現在、学生であり、働き始めるとなかなか参加できないと思ったから。
- ・町、役場の人の考え方が少しでも理解したいと思ったから
- ・町が行っている事業に対して、自分自身が一面しか見ていないのではないかという懸念があり、自身の視点をニュートラルにしたかった。
- ・町の事業、行政について知りたいと思ったから
- ・町の事業のあり方について考えたいため
- ・町内のことが知りたいと思ったから
- ・町報だけだと分からないことが多いので、色々と知ることができるのではないかと期待
- ・町民でありながら税金がどのように使われているか具体的に知れる機会だと思ったから
- ・日々、暮らしている中で少しでも感じていることを言えるかと思ったから
- ・町の事業に関心があったから
- ・町民の考え方が分かるから、勉強になる
- ・町民の一人として自分のお金がどのように使われているか知ることが大事だと思った。それを知って、町民の一人としてできることが分かるかと思った。
- ・町の取組み、税金の使われ方に興味・関心があったから
- ・町のことを知りたかった
- ・興味があったため
- ・事業の決定に興味があった
- ・町行政について理解を深めるため
- ・気になっている事業があったため
- ・他町から越してきたが、鳥取県中部では活力のある町に見えたが、憧れが衰退している現実で、町の取組みを知りたくて応募しました
- ・自分自身の意識改革のため

12. 今回の事業レビューで特に関心を持った事業はどれですか？
理由もあわせてご記入ください。

○コンビニ交付サービス事業（回答：4名）

- ・前のめりの取組みには賛成できない。町民の要求に沿って政策を変更すべき。
- ・対象者がごく一部に限られている事業に多額の予算が組まれていることに対して疑問を持った
- ・コンビニ交付を町民がどれだけ望んでいるのか疑問である。
- ・今後の行政の改革と関連がありそうで、この事業との関係でどうなるのか興味がある
- ・町民のメリットと町の経理対応

○ICT教育環境整備事業（回答：3名）

- ・「教育環境」と「教育」が、ごっちゃになっている様子に混乱した。
- ・これからの琴浦は、いまの子供たち、若者だと思うので、そのような人たちが学ぶ環境はとても大切だと思うから
- ・整備そのものが目的ではなく、ICTの役割を再認識することができた。

○子どもの遊び場環境整備事業（回答：1名）

- ・こども園を利用している保護者から、調査をして、その結果を他の課と共有しており、住民の希望を踏まえられていると感じたから。

○文化芸術振興事業（回答：1名）

- ・大切な事業にもかかわらず、活かされていない現実を知りました

○ごみ処理事業（回答：9名）

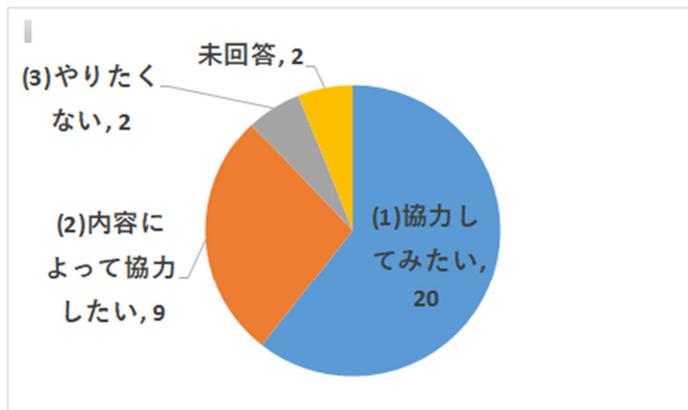
- ・事業者には負担が生じていると思われるので、もう少し予算を増加しても良いのではないか
- ・費用がすごくかかっているのにびっくりした
- ・町民が気持ちよく生活していくのに大切だと思った。
- ・事業の内容を分析が必要と思った
- ・これからのゴミ問題には関心があるから
- ・必要不可欠な事業であり、住民・行政が力と知恵を集中してやらないといけない事業だと思うから
- ・毎日の問題で絶対に避けて通れない問題
- ・生活するうえで出てくるゴミはなくすことは出来ず、収集をやってもらっているありがたみを感じています。
- ・一人一人が出来ること、意識を変えていくことも含め、現状を知りたいと思った。
- ・ごみ処理に係る具体的な費用が知れた

○グルメめぐるウォーク委託事業（回答：3名）

- ・改善の余地が大いにあると思ったから
- ・知っていたが内容が分かっていたいなかったから
- ・気になっていたため、内情を知りたかったから。

13. 今後、事業レビュー以外で、町の無作為抽出により選ばれた場合は、ご協力いただけますか？

- (1) 協力してみたい (2) 内容によって協力したい (3) やりたくない



14. その他、今回の事業レビューや琴浦町の行財政改革の推進について、ご意見・ご感想がありましたらご記入ください。

- ・このような機会をもっと増やしていけたら良いと思う
- ・たいへん勉強になった
- ・運動を推進されているのに使い勝手が悪いので改善が必要
- ・琴浦を知らない識者4名がいるなら、琴浦を知る4名がいないと意見が公平でなく聞こえてくる。
- ・識者と担当者のやりとりが今ひとつうまくいっていないように思えた。
- ・行政は、とりあえずやらなくてはいけないという感覚で進められていることが多いと思う。民間であれば、コスト削減と利益を追求する。
- ・行政は、予算を消化するイメージがあるので、町民の意見を聞き望んでいることは何か、コストを如何に抑えて実現するかなど、工夫をして欲しい。
- ・事業レビューを議員とやること。
- ・事業のPRのため、TCCや区長に徹底すること。
- ・海岸の美化に努めて欲しい
- ・町行政の取組みの現状理解に有効であった。
- ・指摘された事項には正面から受け止め、改善して欲しい。
- ・町民と行政が気軽に会話できるようになって欲しい
- ・長時間なので、せめて、午前2事業、午後2事業で終了時刻を早めることを希望します。
- ・有識者の意見も時には必要かと思うが、利用するのは住民であるため、もっと住民の声に耳を傾けて欲しいと思った
- ・住民への調査が十分ではないと感じた
- ・今回は琴浦町の事業について”知る”程度の意識で参加しました。評価するまでには至りませんが、参加して良かったと思いました。
- ・町議会議員の人数に無駄があるので、浮いたお金を老人に与えたらどうか
- ・いい勉強になり、続けて参加したい
- ・役場と町民の一人としてのずれを感じたので、町民に対して分かりやすいクリアな働きを期待しています。
- ・「若者を大切に、子どもと老人にわかりやすい政治」を

- ・ まちの取組みを知るいい機会となった
- ・ 町役場の方は一生懸命取組まれていると思った。
- ・ PTA 活動の資源回収について、小学生がいない地区があり高齢者の方がダンボールなどの処理に困られているので、古紙回収などの検討をお願いしたい。
- ・ 事業レビューは職員の方も行われているのですか
- ・ 行政担当課の苦労の一部が理解できた。
- ・ 町民の意識向上がますます大切だと思った。
- ・ 職員の方々へ、資料作りに始まり色々大変だったと思いますが、これからも頑張ってください。
- ・ 外部有識者に頼らず、町職員・町民レベルで事業評価できるよう、これからも頑張っていたきたい